

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中 報告日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	飯塚市	代表者名	片峯 誠
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0948-22-5500
担当者役職	主任	担当者氏名	川畑 夏希
住所	820-8501 福岡県飯塚市新立岩5-5		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	職員のデジタル人材の育成に対して、何から始めればよいか曖昧なビジョンだったものが、アドバイザーとお話することで明確化した。 職員への研修で必要なものもご教示いただき、今後の方向性を定める参考にもなった。 また、様々な他自治体事例もあったことで、県内自治体の取り組みや参考事例を知ることができた。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年10月5日	9時30分	10時30分		60
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン		最寄駅	-
	所在地	-		最寄駅からの交通手段	-
	派遣形態	事前打合せ(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	4人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	職員の意識の中でデジタル化に対する拒否反応が大きく、現状の業務を変えることへの抵抗、慣れないデジタル技術の利用に不安を感じている職員が少なくない。 そのような感覚を払拭し、市内事業や庁内業務でのデジタル化(DX化)への取り組みを進めることができる職員を育成することが早急な課題となっている。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	職員のデジタル化に対する意識の変革。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	一般職員向け、管理監督職向けに研修を行うにあたり、どのような構成で研修するか、どのような内容を織り込むか、どのような課題があるか、他自治体の事例等についてご教示いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	研修における事前打ち合わせのため、特になし。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	研修における事前打ち合わせのため、特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 研修における事前打ち合わせのため、特になし。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	市内事業や庁内業務のデジタル化に積極的に取り組み、これからのデジタル社会に対応できる職員の育成。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。